



## まずは、従業員の健康課題を 知ることから始めましょう。

アクサ生命保険㈱ [仙台商工会議所 定期保険(団体型)引受保険会社]  
仙台支社 支社長

佐藤 浩(さとう・ひろし)氏

プロフィール 1986年に日本団体生命保険(現アクサ生命保険)入社。育成支部長、  
気仙沼営業所長を歴任した後、2017年1月1日より現職就任。  
健康経営シニアアドバイザー資格認定者。

年々増えている健康経営優良法人  
企業の健康経営の取り組みを後押しする制度として、「健康経営優良法人認定制度」があります。企業における「健康経営」の取り組みを評価し、認定し、優良な健康経営を実践している企業等を「健康経営優良法人」として顕彰するもので、経済産業省が制度を設計し、日本健康会議が認定します。この認定を受けることで、認定企業のみが使用可能なロゴマークを企業のPRに活用できるほか、地域の金融機関の低金利融資や自治体の公共調達で加点が受けられるなど、さまざまなインセンティブがあります。

「健康経営」は企業の将来への投資  
現在、日本が抱える大きな課題の一つに人口減少、少子高齢化があります。人口減少は労働人口の減少に直結するため、企業経営においても大きな課題となっています。さらに今後、少子高齢化が加速すること、企業の人的資本である従業員の平均年齢が上昇し、健康課題が増加していくことも予想されます。このような背景から、従業員の健康維持・増進を促進する取り組みが、将来的に企業の収益性を高める投資であるという考えの下、健康管理を経営的視点から積極的に実践していく「健康経営」への着手が重要となっています。

図1. 健康経営優良法人  
(中小規模法人部門)  
「ロゴマーク」



定制度」があります。企業における「健康経営」の取り組みを評価し、認定し、優良な健康経営を実践している企業等を「健康経営優良法人」として顕彰するもので、経済産業省が制度を設計し、日本健康会議が認定します。この認定を受けることで、認定企業のみが使用可能なロゴマークを企業のPRに活用できるほか、地域の金融機関の低金利融資や自治体の公共調達で加点が受けられるなど、さまざまなインセンティブがあります。

図2. 健康経営優良法人(中小規模法人部門)申請・認定状況の推移



引用元：経済産業省発表データ

※1 ホワイト500…大規模法人部門認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位500の法人。  
※2 ブライト500…中小規模法人部門認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位500の法人。

## 特集

# 人的資本 経営推進の カギを握る

# 健康 経営とは?

近年、「人材」を企業の資本と捉え、その能力や知識を最大限に活かしていくことで、中長期的な企業価値の向上につなげる経営戦略である、「人的資本経営」が注目されています。その取り組みを進めていくためには、従業員に長期的に定着してもらえるように、働きやすい環境を整え、企業が従業員の健康を経営学的な視点から考える「健康経営<sup>®</sup>」がカギとなります。

そこで今月号では、人的資本経営の視点から「健康経営」の概要や取り組むことで得られるメリット、実践するためのポイントなどについて解説します。

※健康経営<sup>®</sup>は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

比較して、大規模法人部門は22倍、中小規模法人部門は約87倍に増加しています。弊社は、県内商工会議所や全国健康保険協会(協会けんぽ)宮城支部、東北医科大学と健康経営協力協定を結んでいます。全国と比較してみても宮城県内では「健康経営」の普及が進んでいると考えています。

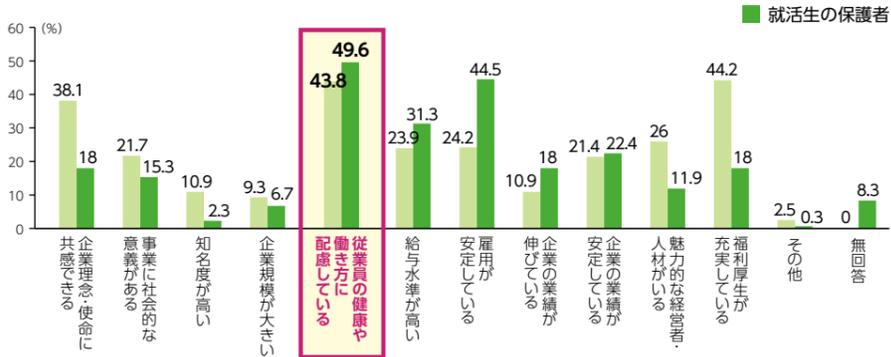
## 企業・従業員の双方にメリット

企業が率先して従業員の健康を考え、働く環境の整備に投資することが企業の持続的成長や企業価値向上につながることは、すでにお話ししましたが、「健康経営」に取り組むことは、企業だけではなく、従業員にとってもメリットがあります。仕事や子育て、両親の介護といった、さまざまな日常を抱えながら生活しているため、どうしても従業員自身の健康が後回しになってしまいがちな状況下で、会社が積極的に健康への配慮を行うことは、例えば病気の早期発見や重症化を予防することにつながるりますし、ストレスチェックを実施することで、メンタル面の不調にも早期に対応することもできます。

図3. 就活生、保護者へのアンケート結果

Q. (就活生) 将来、どのような企業に就職したいか。(3つまで)

Q. (保護者) どのような企業に就職させたいか。(3つまで)



引用元：経済産業省ヘルスケア産業課「健康経営の推進について」

さらに、採用面や人材の定着という点でもメリットがあります。就職活動中の学生と、その保護者を対象に実施したアンケートによると、「どのような企業に就職したいか」という問いに対して、「従業員の健康や働き方に配慮している企業」という回答が学生では2番目に、保護者では1番目に多くなりました(図3参照)。

## 経営者自ら「健康経営宣言」を行うことが重要

健康経営に関心を持つ企業が年々増えてきている一方で、何から始めれば良いのか、どのように取り組んでいけば良いのか分からないという方も多いと思います。弊社にも、健康経営優良法人認定を取得するにはどうすれば良いのか教えてほしいという相談が多く寄せられています。こうしたニーズの高まりを受けて、弊社では社員に健康経営アドバイザーの資格取得を推進しており、宮城県内だけでも100人以上の有資格者が在籍しています。健康経営を始めようと思ったときに相談する窓口は、弊社のような保険会社をはじめ、健康経営アドバイザーが在籍する企業等に声を掛けていただくのが近道です。例えば弊社では、従業員のヘルスリテラシー向上のためのチラシや、従業員の健康課題を見える化するアンケートツールなどを無料で提供し、取り組みの推進をサポートしています。さ

らに、優良法人認定の取得を目指す方のために、認定申請の手続きまでを含めた、一貫したサポート体制も整えています。また、弊社をはじめとした健康経営の推進をサポートしている企業がホームページなどで事例を紹介していますので、それらを参考にするのも良いでしょう。

取り組みを始めるにあたって何よりも大切なことは、「健康経営宣言」を社長が行うことです。経営戦略の一つとして、経営者が陣頭指揮を執ることを周知するところからスタートしてください。その次に、従業員が現在、抱えている健康課題を知ることも重要です。そのためにも、まずアンケートを取ることから始めてみてはいかがでしょうか。弊社で提供しているものに限らず、第三者が作成したツールである方が従業員としても回答しやすくなるので、既存のツールやサービスを利用して、より客観的に健康状態を把握することをおすすめします。

7年前にスタートした健康経営優良法人認定制度は、いわば始まったばかりの国の施策です。秋には「健康経営優良法人認定2024」の申請受付が始まります。認定申請を「会社の健康診断」と捉えて、ぜひ多くの企業に取得を目指していただきたいと考えています。現在の会社の取り組みに過不足はないかをチェックする良い機会になるのではないのでしょうか。



## 「健康経営」に積極的に取り組んでいる企業にお話を伺いました。企業を守り、強くする。それが「健康経営」に取り組む理由です。



WIDEFOOD(株)  
代表取締役社長

いとう なおゆき  
伊藤 直之氏

プロフィール  
「肉のいとう」の店名で1967年に創業。精肉・総菜の販売・通販などを手がけるWIDEFOODを中心に、「焼肉のいとう」を運営するWIDEFOOD DINING、国産プロイラー・地鶏を扱う福島エアーンドエープロイラーの代表取締役を務める。

ムを組織し、前回は達成できていなかった部分の改善に努めているところです。

### 従業員の意識も変化

弊社が健康経営

## 従業員の増加をきっかけに取り組みをスタート

弊社は、2年半ほど前に新会社を設立したのですが、それにより従業員数が増え始め、組織が拡大したことで、各部署のリーダーとなる人材育成の必要性とともに、心身の健康面のフォロワーの重要性が増していました。そこで、従業員の働きやすい環境を整えながら、人材の育成および定着につなげることを目的に、健康経営に着手することにしました。その結果、2022年と2023年の2期連続で「健康経営優良法人」の認定を取得することができました。現在は、次年度の同認定制度の申請に向けてプロジェクトチー

を推進する上で行っている取り組みの一つに、「ストレスチェック」があります。誰が、どのようなストレスを抱えているのかを診断して、必要な場合には、産業医に診察してもらうようにしています。また、働く環境の改善にも着手し、新たに実務スペースを拡張して働きやすさの向上を図り、リラックスしながら従業員同士の交流ができる休憩室なども設けました。今後は、従業員のためのマッサージチェアを設置する予定です。

健康経営に取り組んでからの従業員の変化という点では、残業が減少し、有給休暇の取得率向上が見受けられます。一方で、いま以上に健康経営に対する認識を全従業員に浸透させることが課

## 働きやすさの向上を実感しています。



通販事業部・ブランド推進室課長  
ささき たいへい  
佐々木 泰平氏

社内に「健康経営」に取り組んでいることを周知するポスターが掲示されたり、給与明細をもらう際に、健康に関する資料が同封されていたりするので、従業員全体の意識は高まってきたと思います。私は自社キャラクターやウェブサイトなどのデザインを担当していますが、新たに実務スペースを設けてもらったことで仕事しやすくなり、従業員同士のコミュニケーションも円滑になったと感じています。従業員の心身の健康維持のために会社全体で取り組んでいることを実感していますし、このような活動が、今後の私たち自身や会社の成長につながっていくでしょうね。



「健康経営」に関する社内講習会の様子。

仙台商工会議所では、今後も健康経営をはじめとした各種情報提供を通して、企業の人的資本経営の推進を後押ししていきます。